



クランクブラザーズ acid (アシッド) 1、2 取扱説明書

仕様

アシッドペダルは両面踏み、4面エントリのペダルです。このペダルは他社ペダルには無いいくつかのシューズ固定方法があります。アシッドペダルは軽量で泥詰まりに強く丈夫で角度6度のクリート遊びがあります。



クリートの取付けと調整方法

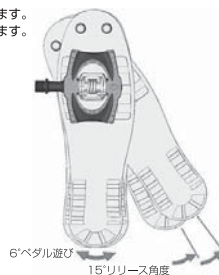
クランクブラザーズのクリートは一般的なシマノSPD対応シューズに適応しています。クリートには上下の区別はありません。ただ足先の違いでシューズのペダルからの開放角度が変化します。ロードシューズ用クリートも適応します。

丸印付きクリートを右側シューズに取付けると両シューズの開放角度は15度になります。丸印付きクリートを左側シューズに取付けると両シューズの開放角度は20度になります。



クリート開放方法の説明

丸印付きクリートを右側シューズに取付けると両シューズの踵を外側に15度捻るとペダルから開放されます。またシューズの踵を内側に20度捻るとペダルから開放されます。丸印付きクリートを左側シューズに取付けると両シューズの踵を外側に20度捻るとペダルから開放されます。またシューズの踵を内側に15度捻るとペダルから開放されます。クリートの形状は左右対称ですが左右の開放角度も対称になります。クリートはスチールワッシャーと合わせて使用して下さい。



初めてクリップレスペダルを使う場合は丸印付きクリートを右側シューズに取付けるとお勧めします。

ステップ1: クリートとワッシャーをシューズ裏面のクリート取り付け穴の上に置いて4mm取り付けボルトを通してシューズ内の金属プレートに固定して下さい。取り付けボルトを締め付けトルク値は4.0〜5.0インチ/ポンドまたは4〜5 Nmで固定して下さい。備考: クリートの取り付け位置と角度は最適な固定位置を決めるために微調整が可能です。最適な固定位置を決めるまで数回は微調整が必要になることがあります。



ステップ2: 片側の足を水平な場所に安定させてもう一方の足のシューズをペダルに固定して下さい。ペダルに固定したシューズを数回捻ってペダルとの遊びを感じて下さい。ほとんど人が感じる最適なクリート位置というのはペダルの固定スプリングにクリートが抵抗を感じるような位置が最適です。クリートが最適な位置に取付けられているとペダリング時にシューズに数度の遊びを感じることが出来ます。シューズの踵を外側に捻ってペダルから開放して下さい。

ステップ3: クリートが正しい位置でないときは固定ボルトを緩めてクリートの位置を調整して下さい。固定ボルトを締め込んでステップ2を繰り返して下さい。

スプリングテンション

一般的なクリップレスペダルでは、モススプリングテンションが弱いと簡単にペダルからシューズが開放されると同時に不意の動作で開放されてしまうことがあります。またモススプリングテンションが強いとシューズはペダルに固定も開放も難しくなります。クランクブラザーズ独自の規格はこのスプリングテンション調整を不要にしました。クリートのペダルへの保持力はスプリングテンションに依存していません。クリートに馴染みが出るまでペダルの固定と開放がさらに簡単になります。

泥

アシッドペダルは普通であれば泥や汚れに影響されることはありません。悪条件下ではシューズを前後からペダルに固定させると泥や汚れはペダルのクリートの隙間から落ちています。アシッドペダルの汚れを落とすのに高压水を噴射するような洗浄機を使用しないで下さい。



シューズのペダルへの固定方法

アシッドペダルにはいくつかの固定オプションがあります。いずれのオプションでもクリートがペダルゲージを押し広げるだけの場合が必要です。クリートがペダルに固定されたときにはカチッとクリック音がします。クリートがペダルに固定されていることを確認するにはシューズを前方に引き上げて下さい。

固定オプション1:

シューズのクリート部分をペダルに前方に踏み込んで下さい。



固定オプション2:

シューズのクリート部分をペダルの後方へ踏み込んで下さい。次にシューズを前方に向かってすらしてペダルゲージを回転させてクリートを固定して下さい。

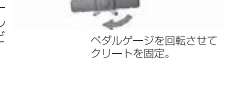


固定オプション3:

シューズのクリート部分をペダルの前方に踏み込んで下さい。次にシューズを後方に向かって引いてすらしてペダルゲージを回転させてクリートを固定して下さい。通常、ペダルを踏み込む動作の時ペダルゲージを回転させるには簡単です。



これら固定オプションは練習が必要です。片側の足を水平な場所に安定させてもう一方の足のシューズをペダルに固定、開放させて練習して下さい。クリップレスペダルに慣れている人も必ずペダルの固定、開放の練習をしましょう。オフロード走行などに出来る前には固定、開放に慣れておきましょう。



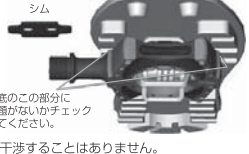
シューズをペダルから開放

シューズの踵を外側に捻ることによってペダルから開放することが出来ます。また踵を内側に捻っても開放することが出来ますがこの方法はお勧めしません。踵を外側に捻って開放する方法が簡単で安全です。もし踵を内側に捻って開放する方法を選ぶ場合は左側シューズに丸印付きクリートを取付けることをお勧めします。

シューズ裏ソールの干渉(ペダル固定、開放がしにくい場合)

シューズによって裏ソールが通常のシューズより高さが高く干渉してアシッドペダルの固定、開放がしにくいシューズがあります。もしシューズ裏ソールと干渉がある場合はシムを使用して下さい。シューズ裏ソールが軽くペダルに接触している状態の理想です。この状態がペダルの固定、開放動作を安定させます。シューズを定に履かずには手に持ってペダルとシューズ裏ソールの隙間を確認しながらペダルに固定して下さい。もしペダルがシューズ裏ソールに干渉している場合はペダルの固定、開放がしにくいです。このシムを使用する方法とシューズ裏ソールをカッターナイフ等で干渉している部分を除去する方法のどちらかで対応して下さい。

もしシューズ裏ソールの干渉している部分を除去する方法を選んだ場合は電動サンダーまたはカッターナイフを使うことをお勧めします。作業は防塵メガネ等を使用して行って下さい。干渉部分は少しずつ除去してペダルの隙間を確認して下さい。シムを2枚重ね等で余裕に必要場合はオプションとして販売していますのでペダルをお買い上げいただいた販売店へご相談下さい。シムを使用する場合はクリートを固定しているボルトを外してクリートとシューズの間に挟んで再固定して下さい。シューズソール裏とペダルが干渉していない場合はシムを使用しないで下さい。必要に使用するとシューズはペダル上に不安定になります。ほとんどのシューズのソール裏はペダルと干渉することはありません。



メンテナンス

アシッドペダルはほとんどメンテナンスの必要がありません。通常の状態であればベアリングは防水で各ペダル部品は防錆処理されています。ペダルの外表への注油は必要ありません。ほとんどペダルに付いた汚れは勝手に落ちてしまいます。乾いた泥や汚れは自然に落ちてしまいます。ただ定期的にペダルの損傷や磨耗、ガタツきなどを確認して下さい。

クリート

クリートは使用していくと磨耗し交換が必要になります。常にクリートの磨耗を確認するようにして下さい。もし不必要にペダルがペダルから外れてしまう場合(シューズの踵を捻ることなく)クリートが磨耗している印です。またシューズをペダルに固定したときに緩く感じるときもクリートが磨耗している印です。クリートはペダルボディ部品よりも柔らかい素材で作られています。これは意図的にクリートがペダルボディよりも先に磨耗するように設計されています。クリートは乗車のスタイルや状況にもよりますが、通常であれば乗車30〜50時間使用できるように設計されています。

ステップ4: グリスの塗布。

オプション1: ペダルボディに挿入されるスピンドル部分の先端ねじり部分以外の表面全体にグリスを塗布して下さい。

ステップ5: スピンドル(ペダル軸)の取付け。

スピンドルをソールが折れたり曲がったりしないように注意しながらペダルボディに挿入して下さい。

ステップ6: ナットの取付け。

8mmソケットレンチと6mm六角レンチを使用してナットをスピンドルに固定して下さい。しっかりと締め付けトルク値、3.0インチ/ポンド、3.5 Nmで固定して下さい。注意: ナットは正しい締め付けトルク値で固定されている必要があります。固定が弱いと走行中にペダルボディが外れて思わぬ怪我をすることがあります。

ステップ7: エンドキャップの取付け。

マイナスドライバーでエンドキャップを取付けて下さい。エンドキャップのねじり部分にはロックタイト等の緩み防止剤を塗布して下さい。

注意事項: ペダルを取付ける前、乗車前に必ずお読み下さい。

この注意事項はペダルを取付ける前に必ずお読み下さい。注意事項や警告事項を必ず読んでお読み下さい。乗車をすると思わぬ怪我をすることがあります。間違った取付けや使用方法は大変危険です。必ず注意して下さい。一般市販品のアシッドペダルには反射板リフレクターは付属していません。

- アシッドペダル用の反射板リフレクターはオプションで販売されています。ペダルを購入いただいた販売店へお問合せ下さい。
- アシッドペダルを間違った取付け、改造、過度に磨耗した状態では乗車しないで下さい。定期的なクリートの磨耗状態や破損を確認するようにして下さい。もしペダルの破損、磨耗状態を発見した際は、すぐにペダルを交換するか修理をして下さい。ペダルが壊れた状態、破損した状態、濁り油が切れた状態、磨耗した状態では予期しないペダル故障を引き起こし、思わぬ怪我をすることがあります。
- アシッドペダルの正しい取付け方法に疑問やペダルの磨耗状態の判断ができない時はお買い上げいただきました販売店までご相談下さい。またペダルの使用方法などに関し質問や不安がある時もお買い上げいただきました販売店までご相談下さい。
- すべてのペダル部品は泥や汚れがない状態に下さい。走行中の怪我を防ぐために自転車全体が十分にメンテナンスされているか、各部分が正しく装着されているかを確認してから走行して下さい。常に自転車用のヘルメットを使用して走行して下さい。
- ペダルの固定、開放の仕組みを理解してから乗車して下さい。片側の足を水平な場所に安定させてもう一方の足のシューズでペダルの固定、開放を確認して下さい。
- クリップレスペダルに慣れている人も必ずペダルの固定、開放の練習をしましょう。ペダルに慣れてから乗車しましょう。
- クリップレスペダルは自転車専用シューズが必要です。アシッドペダルのクリートは一般的なSPDと2穴バージョンのシューズに対応しています。アシッドペダルとシューズが干渉する場合はシューズソール裏の干渉する部分を削るもしくはクリートシムを使用して正しくクリートがペダルに固定されるように調整して下さい。備考: アシッドペダルに付属しているクリートはクランクブラザーズの他のペダルと互換性があります。
- アシッドペダルではクランクブラザーズのクリートのみを使用して下さい。常にクリートの状態を確認して磨耗している場合は交換して下さい。
- クリートが正しく取付けられていないと膝を怪我することがあります。また個人差として左右の足の位置が対称でなくても自分の体に合わせた左右のクリートの位置を調整して下さい。
- クリートの取付けと開放に関してのご質問はお買い上げいただいた販売店までご相談下さい。
- アシッドペダルは他社製のペダルに比べるとペダルボディが薄くデザインされていますが他社ペダルから交換する場合は薄さの分ペダルの高さを少し低くすることで調整することが必要です。
- ペダルの取付けや使用方法、メンテナンス等に関してご不明な点がありましたらご購入いただきました販売店へお問合せ下さい。自転車の乗車の際は必ずヘルメットをかぶりましょう。また視界が悪い場所に乗車する際はヘッドライトとテール

ペダルの取付け方法

アシッドペダルのペダル軸端面には6mm六角レンチ用の凹みがあります。目印として左側ペダル軸の淵に小さな溝があります。

重要: 右側ペダルは時計回りにペダル軸を回してクランクに取付けます。左側ペダルは時計反方向にペダル軸を回してクランクに取付けます。ペダル軸のネジ山にグリスを塗布して6mm六角レンチで締め付けトルク値2.5〜3.0インチ/ポンドまたは3.4〜4.1 Nmでクランクに取付けて下さい。



ペダルの分解、再組立方法:

もしペダル軸が緩く感じたり、砂を噛んだような状態になった場合はペダルの分解、再組立作業が必要です。オプションとして購入可能なビルトキットを使用してペダルの分解、再組立が可能です。ニードルベアリングとカートリッジベアリングの交換作業は比較的簡単です。必要な工器具は、6mm六角レンチ、マイナスドライバー、8mmソケットレンチです。その他グリスや汚れなどを拭くウェスが必要です。ご不明な点はペダルをご購入いただいた販売店へご相談ください。クリートが固定されるペダルボディは再組立に専用工具が必要ですので分解しないで下さい。

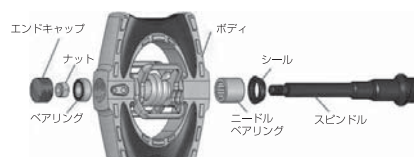
ペダル軸の分解作業

- ステップ1: エンドキャップを外す。幅広いマイナスドライバーを使用してペダル軸のエンドキャップを外して下さい。
- ステップ2: ナットの取付け。6mm六角レンチをペダル軸端面の凹みに入れて8mmソケットレンチでペダル軸のナットを緩めて外して下さい。
- ステップ3: スピンドル(ペダル軸)を外す。スピンドルをペダルボディより引き抜いてきれいなウェスの上に置いて下さい。
- ステップ4: カートリッジベアリングを外す。カートリッジベアリングをペダルボディより外して下さい。もしベアリングが簡単に外れない時は六角レンチ等を使用してペダルボディの中から押し出して下さい。
- ステップ5: シールを外す。ペダルボディ内のシールを外して下さい。
- ステップ6: ニードルベアリングを外す。マイナスドライバーを使用して図に示すようにニードルベアリングを外して下さい。ニードルベアリングが少し外側に動いたらもう1本のマイナスドライバーを支点として下の要領でニードルベアリングを外して下さい。ある程度ニードルベアリングがペダルボディより外に出たらニッパー等を使用して外して下さい。
- ステップ7: パーツをきれいにする。きれいなウェスやペーパータオルを使用してペダルボディ内部、ペダル軸、エンドキャップについている汚れたグリスを拭いて下さい。



ペダル軸の組立作業

- ステップ1: カートリッジベアリングの取付け。新しいカートリッジベアリングをペダルボディに挿入して下さい。
- ステップ2: ニードルベアリングの取付け。新しいニードルベアリングをペダルボディに挿入して下さい。しっかりと奥まで挿入して下さい。
- ステップ3: シールの取付け。ペダルボディにシールゴムの線が図のように向くように取付けて下さい。



保証

クランクブラザーズ社のペダルは製品不良に関してご購入日から1年間保証します。この保証は該当製品の修理及び交換に限られます。また誤った使用での破損は適用されません。ご購入日の証明として販売店でのレシート、領収書等が必要になります。ご不明な点はご購入いただきました販売店へお問合せ下さい。

お問合せ、ご質問 ペダルをお買い上げいただいた販売店へお問合せ下さい。

